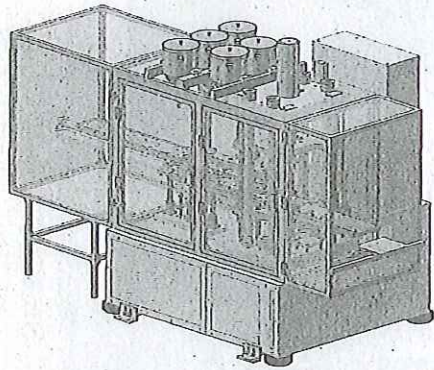


第3種郵便物認可

粉体5層以上に成形

三庄インダストリー



連続多層ウェーブ成形プレスのCAD図面

一般的に粉体の多層成形装置は金型を囲むように複数のホッパーと粉マスフィーダー(供給機)、シリンダーを配置する。4本あるプレスフレームを避ける必要があり、従来は4層までだった。新型プレスは一直線上に粉マスフィーダーを連結した独自開発の粉体供給方式「トレイン方式」を採用。複数

の粉マスが金型上をいったん通過し、バックしながら最下層材料を入れた車面から順に粉体を供給する。成形品と元位置にバックする粉マスとの干渉をなくし、粉マス直線配置を可能にした。

設置スペースの長さ方向に余裕があれば、理論上は何層でも成形が可能。特殊スライドゲート弁で原料湿りさを防ぐ。1層充填するごとに振動させる機能があり、層間の境目をばかすこともできる。三庄インダストリーはこれまでに単層から4層までのプレス装置を超硬工具や砥石、インプラント用歯冠向けで展開し、歯冠向けでは国内シェア90%(同社推定)を握る。新型プレスはすでに国内特許だけでなく特許協力条約(PTA)に基づく国際出願を申請し、海外市場を視野に入れる。

オゾンによる殺菌・消臭・洗浄装置で、ホテルの消臭器から半導体製造工程での洗浄装置まで幅広く展開する。「オゾン」で殺菌・消

【東大阪】三庄インダストリー(大阪府東大阪市、山本努社長、072・966・4613)は、粉体を5層以上に成形する装置「連続多層ウェーブ成形プレス」を発売した。インプラント用歯冠の色の層を増やして自然に近い色調にできるほか、絶縁層や導電層を組み合わせた電子部品の生産を効率化する。価格は3000万円(消費税抜き)。初年度に10台の販売を見込む。

新型連続プレス機開発 電子部品生産を効率化

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

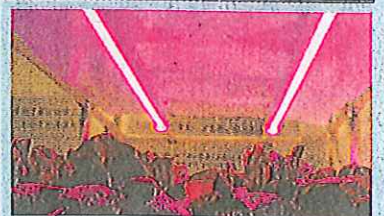
新聞

10月3日 火曜日

2017年(平成29年)

TODAY

32 深層断面



施設園芸
特許庁の特許出願技術動向調査によると、施設園芸に関する特許出願は毎年数百件増加。年間2000件を突破した。農業人口減少や食料自給率向上、日本産作物の輸出促進など施設園芸の技術進化は欠かせない。(パナソニックの植物工場)

09 粉体、5層以上に成形
三庄インダストリーが新型プレス機